

夢よこすか 横須賀市議会議員 永井まさと

NEWS LETTER VOL.03

発行/2020年8月16日 発行者/永井まさと 〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居3-5-5 <http://www.yumeyokosuka.com/>

小中学生に一人一台PC補正予算を議決

一人一台PC予算が実現

国のGIGAスクール構想の予算を前倒し計上

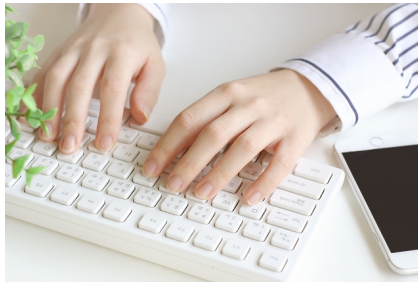
我が会派よこすか未来会議は、昨年の結成以来一貫して教育現場のIT化を主張してきました。国のGIGAスクール構想で一人一台PC予算が発表され、横須賀にもいち早く導入するよう会派として発言も行なってきました。今回コロナ禍の影響で学校が休校になり、オンライン学習やオンラインコミュニケーションの重要性が今まで以上に高まったことなどから、数年をかけて導入予定であった一人一台PC予算を本年度補正予算として前倒しで計上することとなり、8月4日開会された臨時議会にて議決しました。

教育現場のIT化の意義とは？

学校現場では様々な業務が存在し、教職員の多忙化が近年議会の話題としてあげられています。教育に携わる教職員として最も大事なことは一人ひとり全く違う目の前の子供たちに向き合うことだと思っています。子供の数が多かった昔に比べれば子供の少ない今の方がよっぽど子供に向き合える時間があるのではないかと感じがちですが、現場を見るとそうでもなさそうで、様々な業務に忙殺されている現状が教職員多忙化と働き改革をテーマに毎回議会で議論される形で表面化しています。

そうした問題解決手法の一つとして我が会派よこすか未来会議が議論のテーブ

ルにあげているのが教育現場のIT化です。



急な欠席連絡やその他の必要な連絡などの保護者とのやり取りをオンライン化することや、校務上の出来る限りのペーパーレス化、校長先生が出席する会議等のオンライン化など、校務を効率化する手法はたくさんあります。また、セキュリティに配慮しながら校務情報をクラウド化し、学校・自宅からデータにアクセスすれば資料やUSBを持ち歩いて紛失するというものもなくなります。

IT化することによって無機質な教育環境、現場になってしまうのではないかと懸念は、実は全くあてはまりません。逆に、教職員の仕事環境を効率化することによって、教師が児童生徒に向き合う機会を担保し、結果として教育の質をあげることに繋げるのがIT化を推進する意義です。ITで教師と児童生徒の現実的

な距離を縮めようとする試みなのです。

オンライン未来会議を開催 2021年に向けた政策提言 について意見交換

7月末に開催したオンライン未来会議は市内外中高大学生が約30人参加。活発な意見交換を行うことができました。若い世代が生活を取り巻く様々なことについてどう思っているのか、どう感じているのかを聞くことは貴重な機会です。我が会派よこすか未来会議は市民の一員でもある若者の意見を政策提言に盛り込んでいくことは非常に重要なことと位置付けています。

今回のオンライン未来会議は全世代が対象の広聴会となります。10月に市長に提案する予定の2021年に向けた政策提言について、市民の皆さんからご意見をいただく貴重な機会となります。

9月18日(金) 18:00スタート

参加申し込み方法はSNS、ウェブサイト等でお知らせします。

よこすか未来会議

検索

無症状でもPCR検査実施可能に

現在の感染症法ではPCR検査を公費で受けられるのは、濃厚接触者など感染拡大防止に必要な方に限られており、無症状のまま不安だからという理由では検査は受けられません。それでも、人との接触が避けられない仕事をされている方や、年配者の方の介護をされている方などから、自分が他人に移してしまわないか本当に不安だという切実な声がありました。そこで市は地元医療機関の協力をお願いし、自費にはなりますが、無症状でも検査が受けられるようになったと発表しました。市内協力医療機関については横須賀市ホームページをご確認ください。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0510/covid-19/pcr.html>